

荒崎海岸で清掃や放流

地域団体と日釣振神奈川が共催

地域の未来を考える会と(公財)日本釣振興会神奈川県支部は、第23回「荒崎海岸クリーンフェスタ2024初夏」を6月9日(日)、横須賀市の荒崎海岸なんやの浜で開催した。家族連れなど地元住民らを中心に約150名が参加し、ビーチクリーンや稚魚放流などを体験した。このイベントは、海岸のゴミ拾いを通して環境美化を実践しながら自然保護意識への理解を深めようとする。コロナ禍で2年間中止し、その後は規模を縮小して行ってきたが、今回はフル開催となった。

当日は同支部の山口充支部長や兼松美紀副支部長ら役員、事務局を置く(株)ヤマリアのスタッフが行ったあと、(公財)神奈川県栽培漁業協会の協力



マイクロプラスチック採取体験

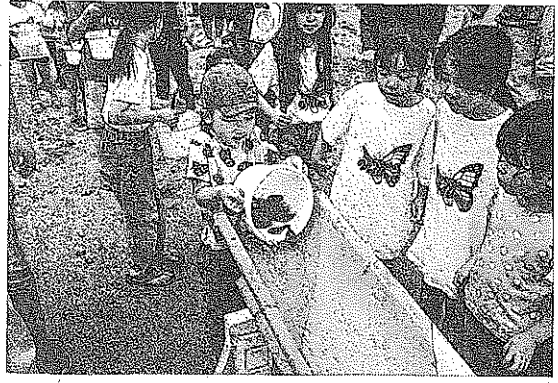


エギ色塗り体験教室なども実施

により、子どもたちがスロープを使ってヒラメ稚魚1000尾を岸辺に放流した。会場では、ヤマリアが協力してエギ色塗り体験教室やペーパーフィッシング大会を行ったほか、模擬店の出店、大道芸、輪投げゲーム、大抽選会などのイベントで盛り上がった。なお、同支部はこのイベントに先立ち横須賀市長井の井尻港にもヒラメ稚魚4000尾を放流している。



井尻港にもヒラメ稚魚を放流



荒崎海岸では子どもたちが放流